見てみよう「須坂市の財政」



～ダイジェスト版～



イオンモール須坂の開業・須坂市ブース「畑と台所」の出店（2025 年 10 月 3 日開業）

2026年度版 財政広報誌(2025年度決算)

須坂市　財政課

1 財政って何なの？



歳入と歳出による経済活動全般を **財政** といいます。

具体的には



個人や企業の方に納めていただいた市税や国からの地方交付税等のほか、須坂市の借入金にあたる市債などによって、道路や学校などの公共施設を整備したり、福祉や教育などの公共サービスを提供することです。

歳入
市税・地方交付税・市債などで得る収入

須坂市の財政

歳出
公共サービスの提供などの支出

社会保障の給付、公共施設の建設、道路の改良など。

■ 須坂市の会計

須坂市が1年間に使うお金の見積もりを予算といいます。予算は一般会計・特別会計・公営企業会計の3つのグループに分けられています。

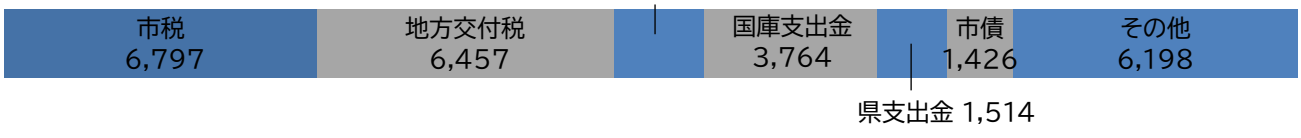
一般会計	特別会計	企業会計
福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計	国民健康保険や介護保険など一般会計と区別する必要がある事業の会計	水道事業など、民間企業のように、利用料金などの収益で運営している会計

2 須坂市の歳入と歳出は･･･



～2025（令和 7）年度 普通会計決算額～

歳入総額 281 億 3,100 万円



歳出総額 273 億 636 万円



300億円ってどのくらい？



メセナホール×約9個＝300 億円
（須坂市メセナホール建設費　約 34 億円）



3 須坂市の財政を家計に例えると・・・



須坂市の1年間の収入と支出を家計簿に当てはめてみました。

家計と市の会計では、お金の使い道も規模も違いますが、2025（令和 7）年度決算の歳入総額 281 億 3,100 万円を年収 500 万円の家計に例えてみました。

収　入

給　料		市　税	自主財源	120 万円
パート収入		使用料・手数料など		6万円
駐車場収入		財産収入		1万円
親からの仕送り	使い道は自由	地方交付税	依存財源	115 万円
	使い道がきまっている	国・県支出金		94 万円
借　金		市　債		25 万円
その他の収入		負担金や地方譲与税など		139 万円
合　　計				500 万円

支　出

食　費	人件費	97 万円
医療費	扶助費	92 万円
光熱費や町内会費などの雑費	物件費・補助費など	131 万円
車や家電の修理代	維持補修費	4 万円
子どもたちへの仕送り	繰出金	34 万円
借金の返済	公債費	44 万円
家の増改築	投資的経費	53 万円
友人へ貸すお金	貸付金など	19 万円
その他の支出	積立金など	11 万円
合　　計		485 万円



2025（令和 7）年度は 15 万円（=500 万円－485 万円）の黒字となりました！

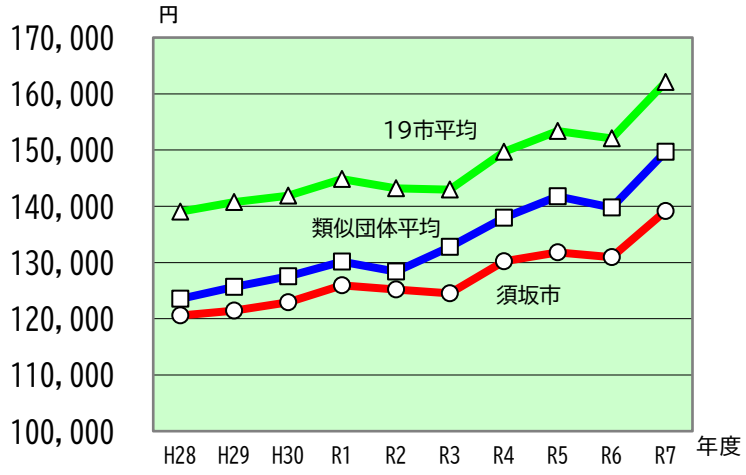
（実質収支　2025（令和 7）年度普通会計決算額 7 億 5,433 万円）

4



須坂市の市税の推移は・・・

■ 市民一人あたり市税の推移



須坂市の2025(令和 7)年度市民一人あたり市税収入は、139,168 円で19市中 18 位と下位に位置しています。

税目別では固定資産税 56,352 円(19位)、個人市民税 55,818 円(14 位)、法人市民税 10,184 円(13 位)となっています。

他市に比べ、一般財源の中心である市税が少ないということは、自治体の判断で自由に使えるお金が少ないということになります。つまり・・・

<u>須坂市の財政基盤の弱さを顕著に表しています。</u>

家計に例えると、自由に使えるお金がない場合、欲しいものを我慢して、出費を最小限に節約するのと同じですね。

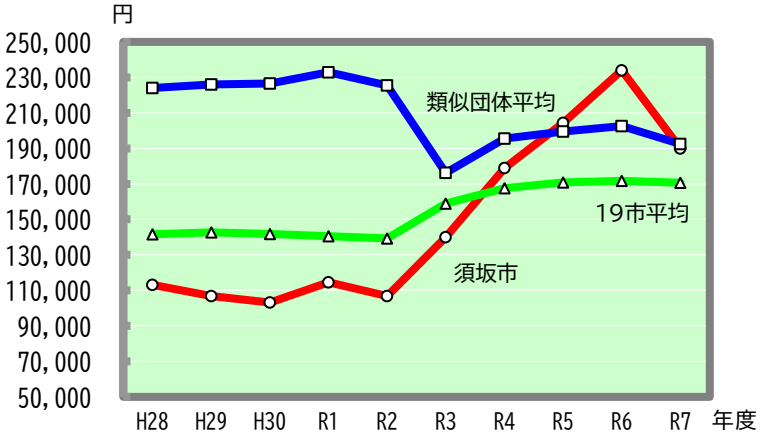


5



須坂市の預金はどれくらいあるの？

■ 市民一人あたり積立金残高の推移

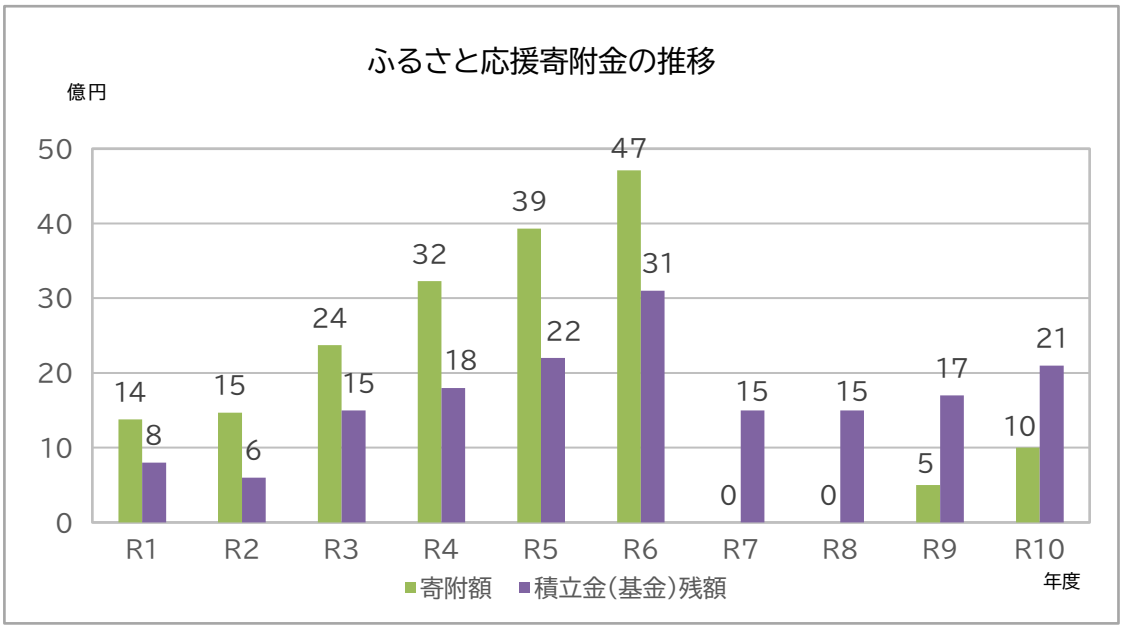


須坂市の2025(令和7)年度末積立金残高は約 93 億円、市民一人あたりの積立金残高は 189,917 円で、2024(令和6)年度末から積立金残高は約 35 億円、市民一人あたりは約 44,000 円減少しました。

6 ふるさと応援寄附金はなくなってしまったの？



ふるさと納税返礼品の産地偽装及び市の対応により、2025（令和7）年度から２年間、ふるさと納税対象団体としての指定取り消し処分を受けました。これを受け速やかに「財政健全化実行宣言」を発令し、真に必要な事業実施とするため、スピード感を持って事業見直し等に取組んだ結果、直ちに財政再生団体に陥るような状況は回避できました。今後も人口減少や物価高による経費の増加、公共施設の維持改修に対する多大な経費が見込まれ、極めて厳しい財政状況が続くことが想定されることから、健全財政に向けた行財政改革はいまだ「道半ば」です。引き続き、財務体質改善を図るため「既存事業を磨き、つなぐ」見直しにチャレンジします。



※2025（令和 7）年度までは決算額、2026（令和 8）年度以降は目標額

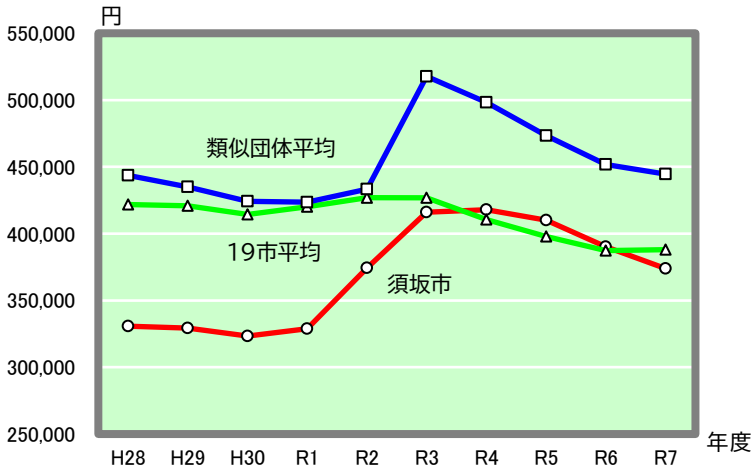
7 須坂市の借金はどれくらいあるの？



市の借金は、市債の状況を見ることで分かります。市債とは、市が必要なお金を調達するために負担する債務（ローン）のことです。

市債を活用することによって財政負担の年度間調整を図り、計画的、効率的な財政運営を行うことができます。また、市債には将来、施設等を利用する次世代にも応分の負担を求め、現在の納税者との負担の均衡を図るという機能もあります。

■ 市民一人あたり市債残高の推移



須坂市の2025（令和 7）年度末の市債残高は約 183 億円です。

市民一人あたりの市債残高は約 37 万円、19 市の中で 5 番目に借金が少ない状況です。

8 財政の弾力性とは･･･



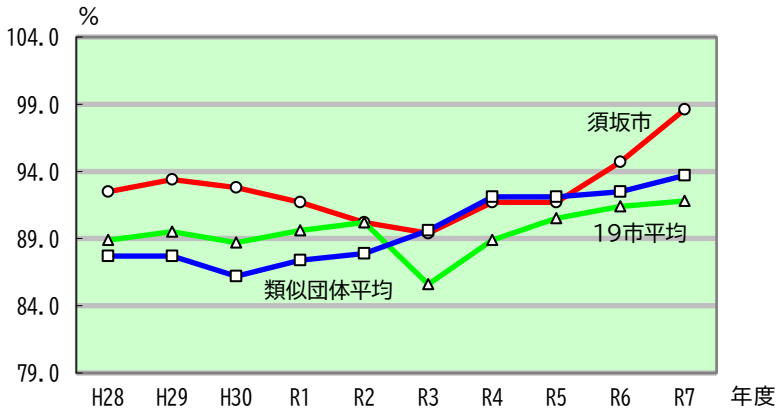
多様化する市民ニーズや社会経済の変化に適切に対応していくためには、財政構造の弾力性が確保されなければいけません。この弾力性を判断する指標として、**経常収支比率**があります。



家計に例えると･･･
毎月決まって入ってくる給料のうち、食費･光熱費･ローンの返済など必ず支払う費用に、どれくらいのお金を使っているかを指標で示し、弾力性を見ようというものです。弾力性の低下は、家庭で自由に使えるお金が少なくなることを意味します。



■ 経常収支比率の推移



須坂市の2025（令和 7）年度は、昨年より 3.9 ポイント増の98.6%となりました。19 市平均は 91.8%、類似団体平均93.7%です。
弾力性のある財政運営のため、市税の確保とともに事業の精査と経費の節減により一層努めていきます。

9 財政の健全性を見てみよう



地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年）により、各自治体に財政の健全性を表す4つの指標を公表することが義務付けられました。須坂市の財政がどんな状態にあるのかを、年間の収支や、負債の状況など4つの視点から示すものです。

■ 健全化判断比率

	内容	早期健全化基準 イエローカード	財政再生基準 レッドカード	R6年度決算	R7 年度決算
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	12.85%	20.00%	赤字なし	赤字なし
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計を合計した赤字の割合	17.85%	30.00%	赤字なし	赤字なし
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	25.0%	35.0%	8.3%	9.3%
将来負担比率	将来負担を見込まれる負債の割合	350.0%	—	算定なし	算定なし

これらの指標のうち、1つでも「早期健全化基準」を超えると、財政健全化計画をつくり、自主的な財政健全化に取り組むことになります。さらに「財政再生基準」を超えると国の指導、監督を受けながら確実な再生に取り組むことになり、お金の使い方が制約されます。



須坂市の健全化判断比率は、いずれも基準を大きく下回っていますが、今後、公債費（返済）が増加し基金残高は減少する中で、いかに健全財政を継続するかが課題です。